

※グループの場合は、筆頭者(リーダー)の氏名、所属、当該企業もしくは学校区分及び所在地を記載して下さい。

ユースケース	<p>⑦つの該当するユースケースに☑を入れて下さい。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>①生産現場における課題を解決するためのツール</p> <p><input type="checkbox"/>②工場や企業の外と情報をやり取りする際の課題を解決するためのツール</p> <p><input type="checkbox"/>③事務における課題解決ツール</p> <p><input type="checkbox"/>④グローバル化にともない海外で展開する為に役立つツール</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑤自社製品をIoT化するためのツール</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑥データの活用全般に関わるツール</p> <p><input type="checkbox"/>⑦人材育成の観点で活用できるツール</p>				
	ツール名	FullScanCode® (フルスキャンコード)			
候補者	(フリガナ)ヒラノイチロウ 平野一郎	他 4名	企業名/学校名 団体名/個人名	(フリガナ)キョウトウインサツカブシカイシャ 共同印刷株式会社	
企業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 大企業	所在地	(都道府県) 東京都	開発形態	<input type="checkbox"/> 既存のモノを利用
	<input type="checkbox"/> 中小企業			<input checked="" type="checkbox"/> 新規開発	
<input type="checkbox"/> 学生	開発費用		<input type="checkbox"/> 分からない		
<input type="checkbox"/> その他 ()			<input type="checkbox"/> 円		

ツールのPRポイント	
◎ツールの概要(どんなお悩みを解決できるものか) ※250字以内	
<p>コード発行・解析・読み取り方法を再構築し、新たなコードとして「FullScanCode」を開発。 FullScanCodeの特性は、「複数コード一括認識」「認識性の速さ」「汚れ・読み取り環境耐性向上」などを特徴とし、さまざまな管理使用されているコードの次世代モデルとして期待が持てる。 対象物が動いていても認識可能のため、作業工程内での商品の一括読み取りや運搬途中でのコード読み取りが可能。大量の商品製造管理や在庫管理、トレーサビリティへの活用が期待できる。</p>	
◎導入容易性やコストパフォーマンス ※500字以内 (いくらで導入できるか、どれぐらいのどういった効果が期待できるか)	
<ul style="list-style-type: none"> 既存の印刷機に対応でき、ラベル等印刷において市販品利用への印字が可能である。このためRFIDよりコストダウンが可能である。 ランニングコストについても、RFIDが@数十円~数百円に対し、フルスキャンコードは@数円で可能 システム導入費用において、RFID運用では専用リーダー等が必要なのに対し、フルスキャンコードは既存品利用も可能である。 今後利用拡大が期待されるスマートデバイス・タブレットでの認識技術も可能にしている。 	
◎導入波及性や有効性、安全性 ※500字以内 (横展開の可能性や、セキュリティへの考慮等)	
<ul style="list-style-type: none"> 1次元コード等は、広く一般的に業務運用に使用されている。この運用環境をFullScanCodeで見直すと作業効率業務改善が期待できる。これらのきさまざま分野でFullScanCodeの利用が想定できる。 <p>【FullScanCodeの特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> フルスキャンコードはピンボケやブレがあっても認識しやすい。 一部の汚れ等があっても誤り訂正をするため読み取り精度を維持できる。 読み取り精度を落とさずに絵柄や文字をコード中に配置でき、縦横比の変更も可能。分かりやすいデザインにすることで、作業効率性の向上、あるいは見た目を損なわない効果がある。 RFIDはリーダーを設置する環境の影響を受けやすく金属にタグが接すると認識できない、水に弱いなどの弱点があるが、フルスキャンコードはそれらを大きく改善。 	
◎使用方法 取扱説明書 ※500字以内	
<ul style="list-style-type: none"> 管理フレームに対し、FullScanCodeを用い運用を再定義することで新たな運用管理を設定する。 商品、対象物に対し、ユニークなFullScanCodeを発行し運用管理していくことがスタートとなる。 (管理対象物)FullScanCodeを管理対象物に印刷、またはシール・ラベルを添付する。 (読み取り管理の準備)スマートデバイス、タブレット、PCに読み取り専用アプリ利用し、運用管理サーバーとつなぎ込む。 <p>FullScanCodeで管理を行うことで、1つ1つの商品管理が行うことができ、且つ今までの状態を流用させながら簡単に導入することができる。</p> <p>情報管理から新たに生まれる、トレーサビリティ・管理方法の改善等新たな運用の世界観が構築できる。</p>	
記載事項チェック欄	
<input checked="" type="checkbox"/> 印刷時に枠内に文字が収まっているか。	

(様式2)「案件の自由記述及び、概要図・写真」

◎自由記述 ※1500字以内 導入事例・実績、導入支援体制(有れば)等記載、その他概要図、写真の貼付も可 ※4点

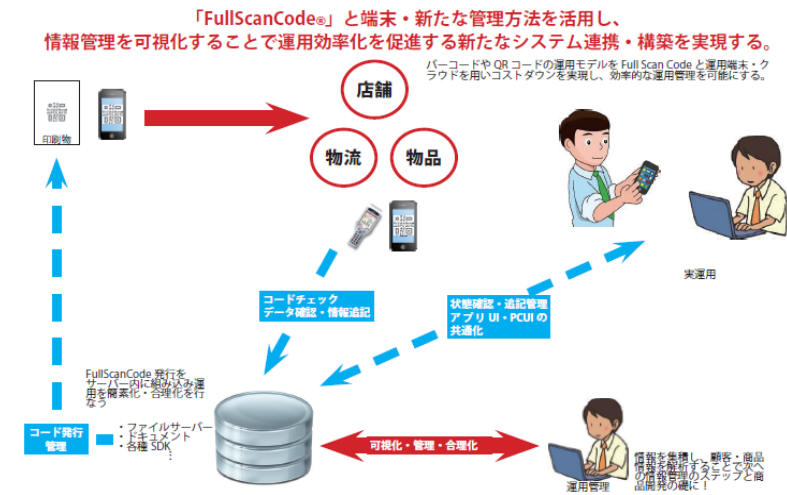
・食品、流通、外食産業などさまざまな業界から引き合い多数、数社での実証実験を予定。
 ※下記に紹介動画を掲載。

<http://www.kyodoprinting.co.jp/products/it-communication/system/fullscancode.html>

【FAQ表】

- ・コードの使用費用について:有償です。共同印刷の技術として特許を取得しています。
- ・契約について:運用要件・構成要素等を伺って契約をさせていただきます。
- ・コードの生成について:共同印刷の技術としてオリジナル開発しております。コード発行SDKを組み込むことで、プリンターからの直接発行も可能です。
- ・コードの生成手段:コード発行SDKとして有償提供させていただいております。
- ・コードの印刷について:コード発行SDKを組み込みが行えるプリンターであればコード印字が可能です。コードを画像としても発行できますので、レイアウトを行えばどのプリンターでも対応できます。※ドットプリンターでの印字の場合、コード認識が安定しない場合があります。
- ・コードの読み取り/認識手段について:Windows7以降・iOS8以降・Android 4.0以降の読み取りSDKを用意してあります。それぞれに組み込みいただければコード認識可能です。
- ・コードの読み取り手段の提供について:Windows7以降・iOS8以降・Android 4.0以降の読み取りSDKを有償で提供させていただきます。

FullScanCode®を活用した運用モデル



【特長1】複数コードを一括読み取り

- ★コードを一つひとつ読み取る必要がない
- ★複数コード読み取りでの組合せアクションも可能
- ⇒ 作業時間の短縮に貢献

【特長2】認識が速い

- ★解析が速い
- ★ぼけやブレがあっても認識しやすい
- ⇒ 読み取り端末をコードにかざすだけで素早く認識

【特長3】汚れに強い

- ★データ部の誤り訂正が可能
- ★位置検出マークの誤り訂正が可能
- ⇒ 優れた誤り訂正能力

【特長4】柔軟なデザイン対応性

- ★読み取り精度を落とさずに絵柄や文字を配置可能
- ★デザインに合わせて縦横比の変更も可能
- ★コードに余白が不要
- ★発行したコードをそのまま使える
- ⇒ 可視化による作業効率向上
- ⇒ あらゆるシーンに活用可能

記載事項チェック欄

- 印刷時に枠内に文字が収まっているか。 図など貼付の際、文字などが潰れていないか。

■第1回 中堅・中小製造業者向けIoTツール募集イベント 書類
(様式4)「追加情報」

ツール名 ※40文字以内

Full Scan Code®

ひとことPRコメント(15文字以内)

コードでビジネスをスマートに

参考Webページ(URL)

<http://www.kyodoprinting.co.jp/products/it-communication/system/fullscancode.html>

(様式5)「問合せ先情報」

問合せ先情報

企業名 組織名	共同印刷株式会社
住所	〒112-8501
電話番号	03-3817-2277
メール	http://www.kyodoprinting.co.jp/inquiry/index.html
ホームページ	http://www.kyodoprinting.co.jp/index.html
担当者名	齋藤 智仁 (さいとう ともひと)